

平成29(2017)年度

# 学生募集要項

大学院工学研究科(博士前期課程)  
【2月日程】

公立大学法人 前橋工科大学



Maebashi Institute of Technology

# 目 次

入学者受入方針	1
学位授与方針及び教育課程編成・実施の方針	4
I 試験概要	
○建設工学専攻	9
○建築学専攻	12
○生命情報学専攻	15
○システム生体工学専攻	18
○生物工学専攻	21
II 出願資格	
III 入学資格審査	25
IV 外国語(英語)試験	25
V 受験上の注意事項	26
VI 出願書類一覧	27
VII 出願、合格発表、入学手続き、入学に係る経費	28
VIII 障がいを有する等の入学志願者との事前相談	30
博士前期課程開設研究室一覧	31～40

## ■ 添付書類

- A票 入学願書
- B票 受験票
- C票 写真票
- D票 志望理由書
- E票 研究計画書
- F票 身元保証書
- G票 入学検定料納付証明書
- 入学検定料振込依頼書
- 提出書類送付用ラベル

# 前橋工科大学大学院工学研究科

## 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

### 博士前期課程

国内外を問わずに、独創的な発想力と、研究に対する実行力を持ち、専門分野を極めて修士（工学）の学位を取得したいという意欲のある人材を求めていきます。

### 博士前期課程各専攻

#### 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

##### [建設工学専攻]

###### ① 教育理念

建設工学専攻は、地域防災分野、地域計画分野、および地域環境整備分野を3つの柱とし、地域の地盤特性の解明や、構造物に関する技術開発、地域社会における種々の計画課題への対応、循環型社会の形成を目指した環境整備に関する技術開発等を担う高度専門技術者、研究者の養成を目指しています。

###### ② 求める学生像

次のような資質を持った人材を求めていきます。

- ・社会基盤を構成する道路、河川、港湾、鉄道、都市施設等々に生じている諸問題や関連する環境問題を工学的視点で調査、研究したことがある

###### ③ 評価の観点

専門的な諸問題を解決する能力を重視するため、材料・構造分野、地域計画分野、および地域環境整備分野の専門知識と英語の能力により評価します。また、技術開発等を担う技術者・研究者となりうる資質を確認するため、面接により評価します。

##### [建築学専攻]

###### ① 教育理念

建築学専攻は、建築計画・意匠分野、建築構造・材料分野、および建築環境・設備分野を3つの柱とし、自然と調和した生活環境を構成するデザインと技術を教育研究します。建築デザインを社会的行為として捉え、より高度化・複雑化する建築構造と環境工学を理解し、自由な建築空間の創造に寄与するとともに、倫理観を備えた建築家、高度専門技術者、研究者の養成を目指しています。

###### ② 求める学生像

次のような資質を持った人材を求めていきます。

- ・科学、技術、芸術、経済などの幅広い知識を備え、かつ専門分野を極めたい
- ・都市や建築、インテリアの設計・施工・監理および行政、研究等に関わる専門業務に従事したい

###### ③ 評価の観点

建築計画・意匠分野、建築構造・材料分野、および建築環境・設備分野の専門知識と英語の能力により評価します。また、多角的視野を備え、客観的なデータに基づいた論理的思考力、分析力、判断力、コミュニケーション力等の能力、さらに独創的な発想とそれをリアライズできる持続力や探求力を有しているか、面接等により評価します。

## [生命情報学専攻]

### ① 教育理念

生命情報学専攻は、知的情報処理分野と生命情報科学分野を2つの柱とし、生命現象にヒントを得たプログラムの作成等による情報学の課題解決と、情報処理技術を活用し、生命現象を解明して行くための教育・研究をおこないます。

生命科学と情報科学の融合により双方の発展に寄与するとともに、高い倫理観を備え、優れたコミュニケーション能力を持つ高度専門技術者や研究者の養成を目指しています。

### ② 求める学生像

次のような資質を持った人材を求めています。

- ・生命科学、情報科学等の幅広い知識を備え、その融合と応用に興味を持ち、専門分野を極める意欲がある

- ・将来生命科学、創薬、医療、情報科学等の研究や開発に関わる高度専門業務への従事を希望する

### ③ 評価の観点

多角的視野を備え、客観的なデータ解析に基づいた論理的思考力、分析力、判断力、コミュニケーション能力等を、生命科学、情報科学の専門知識と英語の能力により評価します。また、独創的な発想力と研究を地道に行うことができる忍耐力を有していることを確認するため、面接により評価します。

## [システム生体工学専攻]

### ① 教育理念

システム生体工学専攻は、システム神経工学分野、生体情報計測システム分野および生体機能制御システム分野を3つの柱とし、社会情勢や健康長寿の社会的ニーズを的確に把握し、それを工学シーズと融合させることができる高度で知的な素養を備え、多様に変化する社会で柔軟に活躍できる高度専門技術者や研究者の養成を目指しています。

### ② 求める学生像

次のような資質を持った人材を求めています。

- ・工学と医科学の学際分野で真に活躍できる技術者・研究者として、学部で学んだ専門知識や技術を一層発展させたい

- ・電気電子・機械・情報・計測制御等の工学基盤技術を駆使し、生体システムの理解を究め、人の健康や福祉に貢献したい

- ・生体システムのメカニズムを探求し、工学に応用したいと考えている

### ③ 評価の観点

コミュニケーション能力を身につけていて、独創的な発想と探求心を持ち、高度な研究やその応用を目指す実行力を、面接、専門知識および英語の能力により評価します。

## [生物工学専攻]

### ① 教育理念

生物工学専攻は、生物科学分野と生物利用分野を2つの柱とし、生物の持つ精巧かつ多様な機能を効果的に活用し、健康・医療分野、食分野、環境分野に於ける21世紀の課題を解決する高度専門技術者や研究者の養成を目指しています。

### ② 求める学生像

次のような資質を持った人材を求めています。

- ・社会、経済、技術等の幅広い分野の知識を有し、生物工学分野で高度な知識と技術を修得したい
- ・生物の持つ高度の機能について強い興味を持ちその原理を解明し、新しい産業技術を創造したい
- ・生命科学分野に於いて研究を行うに十分な基礎知識を有している
- ・広い視野を持ち、客観的なデータに基づき論理的に解決方法を見出し、それを伝える能力を有している
- ・独創的な発想力を持ち、地道な研究開発を行う実行力と忍耐力を有している

### ③ 評価の観点

生命科学、生物工学の専門知識と課題を深く理解し、それを伝えるための基盤となる大学学部で学ぶ基礎的専門知識と英語を含む基本的なコミュニケーション能力を有していることを確認するため、面接、専門知識および英語の能力により評価します。

## 教職課程

生物工学専攻において、高等学校教諭専修免許状(理科)を取得することができます。

教職課程は、教員養成に対する社会的要請を踏まえ、学部で学んだ専門分野の基礎能力と教育に対する理解と実践的な指導力をベースに大学院での講義や研究活動を通して、高度な専門的職業能力と現場での応用力を備え、それらの力を教育に活かせる教員の養成を目指しています。

次のような資質を持った人材を求めています。

- ・様々な視点に基づき物事の本質を見極め、解析する能力をもっている。
- ・自ら課題を設定し、修得した知識と基礎的能力を活用してその課題を解決できる。
- ・教育現場での活動に根気強く主体的に取り組むことできる。

## 前橋工科大学大学院工学研究科各専攻の学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー） 及び教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）は次のとおりです。

### 【建設工学専攻】

#### 【ディプロマ・ポリシー】

建設工学専攻では、所定の年限在学し、専攻の教育理念・目的を達成するために開設した授業科目を履修して、修了に必要な単位数を修得し、かつ、修士論文の審査及び最終試験に合格し、以下に示す能力を有すると認められたものに修士（工学）の学位を授与します。

- ・大学の学部教育で培った教養と土木工学の分野に関わる専門知識などを統合化する能力に加え、当該分野に関わるより深い学識と理解、並びに先進・先端技術に関する知識を身につけている。
- ・工学技術領域の情報からプロセス、システム、技術などに関わる問題を見出し、その解決に向けて多元的・多層的に思考し、最適な対策を導き出す能力を有する。
- ・高度な専門職業に就く技術者として、専攻修了後も自身で新たな知識や能力を獲得し、自主的に継続して学習していく能力を修得している。
- ・修得した教養・専門知識などを統合化し、様々な制約条件下で他者との情報伝達・意志疎通を図りながら実現可能なプロセス、システム、技術などを新たに提案することができる。

#### 【カリキュラム・ポリシー】

建設工学専攻では、ディプロマ・ポリシーを達成するために、以下のカリキュラムを開設し、年次に従って実施します。

- ・建設工学専攻のカリキュラムは、研究科共通科目に加え、材料・構造、地域計画、地域環境整備の3分野における専攻開設科目で構成し、先進・先端技術を含めた高度な専門知識を取り扱う科目を揃えている。
- ・独創性・創造性及び多元的・多層的思考を涵養するため、研究科共通科目と専攻開設科目あるいは専攻開設科目間の関連性を考慮して履修するよう指導する。
- ・修了に必要な研究科共通科目・専攻開設科目の単位を1年次に修得するよう指導し、それらの座学・演習により主に問題解決能力と統合化能力、及び1、2年次の特別研究における実験・実習・プロジェクトなどを通してエンジニアリングデザイン能力をそれぞれ涵養する。
- ・情報伝達・意志疎通に関わる能力の向上を目的として、特別研究より得られた成果を学会などで発表するよう指導する。
- ・特別研究より得られた成果を指導教員らと十分に議論して修士論文としてまとめ、その過程を通じて論理的思考能力と継続的学習能力の向上及び現象・理論の理解の深化を図る。

### 【建築学専攻】

#### 【ディプロマ・ポリシー】

建築学専攻では、所定の年限在学し、専攻の教育理念・目的を達成するために開設した授業科目を履修して、修了に必要な単位数を修得し、かつ、修士論文の審査及び最終試験に合格し、以下に示す能力を有すると認められたものに修士（工学）の学位を授与します。

- ・科学、技術、芸術、経済などの幅広い知識を総合化し、実際に応用できる力を身に付けている。
- ・多角的視野を備え、客観的なデータに基づいた論理的思考力、分析力、判断力、コミュニケーション力を身に付けている。
- ・独創的な発想とそれをリアライズできる持続力や行動力を身に付けている。

#### 【カリキュラム・ポリシー】

建築学専攻では、ディプロマ・ポリシーを達成するために、以下のカリキュラムを開設し、年次に従って実施します。

- ・建築計画・意匠分野、建築構造・材料分野、建築環境・設備分野の3分野の専攻開設科目と研究科共通科目を配置し、それぞれ自身の分野だけでなく、より広範囲な知識を身につけ、総合化力を養う。
- ・それぞれの自身の分野においては、論理的思考力からコミュニケーション力を身につけるため、研究科共通科目と各分野の専攻開設科目を有機的に結びつけるカリキュラムの取得を指導する。
- ・1年次には、特別研究を除く広範囲な知識を習得し、インターンシップなどの社会人としての倫理観、人格を形成する必要能力を身につける。
- ・2年次には、特別研究に専念し、1年次または2年次で得た研究成果を社会に積極的に発信し、それらの成果を修士論文か修士設計としてまとめる。

#### 【生命情報学専攻】

##### 【ディプロマ・ポリシー】

生命情報学専攻では、所定の年限在学し、専攻の教育理念・目的を達成するために開設した授業科目を履修して、修了に必要な単位数を修得し、かつ、修士論文の審査及び最終試験に合格し、以下に示す能力を有すると認められたものに修士（工学）の学位を授与します。

- ・みずからの課題に深く向き合い、論理的な思考により問題解決への道筋を導き出すことができる。
- ・国際的な視野を持ち、英語により記述された論文や資料を読み、理解することができる。
- ・文書、および口頭でのプレゼンテーションにより、文献などを適切に引用しながら、自分の考えを明確に伝えることができる。
- ・情報ネットワーク分野では、計算機システムのはたらきと仕組みに関する専門的な知識を有し、与えられた課題に最適な計算機環境・言語・アルゴリズム等を選択し、プログラムの記述等のシステム開発により課題の解決を図ることができる。
- ・ゲノム情報分野では、自然現象に対する深い興味を持ち、生物学関連分野の特定の領域に関する専門的な知識を有し、計算機プログラム、統計学的手法などの情報処理技術を活用して課題の解決を図ることができる。

#### 【カリキュラム・ポリシー】

生命情報学専攻では、ディプロマ・ポリシーを達成するために、以下のカリキュラムを開設し、年次に従って実施します。

- ・情報ネットワーク分野、ゲノム情報分野においてそれぞれの専攻開設科目を配置し、それぞれの専門知識を深めるとともに、自身の専門でない分野の科目を履修することにより広範な知識を身につけることができる。
- ・1年次においては、それぞれの研究室で専門的な研究を進める上での基礎となる知識の習得、そのために必要な学術論文を読み進める能力、また、インターンシップなどにより社会人としての人格を形成して行くために必要な能力を身につける。
- ・2年次においては、特別研究により専門的な研究に専念する。研究成果を修士論文へとまとめて行く過程で、自身の考えを構築し、外部へ発信するためのプレゼンテーションの方法を学ぶ。

## [システム生体工学専攻]

### 【ディプロマ・ポリシー】

システム生体工学専攻では、所定の年限在学し、専攻の教育理念・目的を達成するために開設した授業科目を履修して、修了に必要な単位数を修得し、かつ、修士論文の審査及び最終試験に合格し、以下に示す能力を有すると認められたものに修士(工学)の学位を授与します。

- ・システム神経工学、生体情報計測システム、生体機能制御システムの研究分野における高度な専門知識・技術を備え、応用することができる。
- ・工学と医科学の融合分野において創造性豊かな優れた研究・開発能力を有する。
- ・社会的要請に応えられる問題発見・解決能力と学際的対応力を有する。
- ・国際的な視野を持ち、論理的な思考能力、プレゼンテーション能力、およびコミュニケーション能力を有する。

### 【カリキュラム・ポリシー】

システム生体工学専攻では、ディプロマ・ポリシーを達成するために、以下のカリキュラムを開設し、年次に従って実施します。

- ・システム生体工学に関連する高度な学問をより専門的に学ぶことができるよう、システム神経工学分野、生体情報計測システム分野、生体機能制御システム分野を3つの柱とし、医工学の立場から高度で最先端の理論を修得できるようにする。
- ・専門的な知識を実際に応用して実践できる力を身に付けさせるための教育を行い、論理的思考能力や自主性を伴った課題探究能力、問題解決能力を高める。
- ・特別研究では、専攻研究分野における課題を主体的に発掘させ、研究目標の設定から効率的な解決に至る一連のプロセスの遂行能力を修得できるようにする。

## [生物工学専攻]

### 【ディプロマ・ポリシー】

生物工学専攻では、所定の年限在学し、専攻の教育理念・目的を達成するために開設した授業科目を履修して、修了に必要な単位数を修得し、かつ、修士論文の審査及び最終試験に合格し、以下に示す能力を有すると認められたものに修士(生物工学)の学位を授与します。

- ・生物工学に関連する問題を様々な観点から注意深く観察し、解決するために必要な検討事項を導き出して整理することができる。

- ・課題解決のために列挙した検討事項について、より的確な方法で実証するための方法を選択できる。
- ・課題解決のために必要な実験計画を立案し、実践することができる。
- ・得られたデータを客観的かつ科学的に解析して、論理的に結論を導くことができる。
- ・導き出した結論や新たな提案をわかりやすく発表、説明することができる。

#### 【カリキュラム・ポリシー】

生物工学専攻では、ディプロマ・ポリシーを達成するために、以下のカリキュラムを開設し、年次に従って実施します。

- ・1年次には、研究科共通科目とともに、専攻開設科目の中から各自の研究分野の特論を中心に履修し、特別研究を遂行する上で必要となる各研究分野の幅広い専門的知識や技術を習得する。
- ・専攻開設科目の生物工学特論Ⅰおよび生物工学特論Ⅱは、生物工学分野の産業および研究を専門とする外部講師により、オムニバス形式で実施される。生物工学分野の研究について、実践的なことを中心に幅広く最新の知識や情報を習得する。
- ・専攻開設科目の生物工学特別演習Ⅰおよび生物工学特別演習Ⅱでは、1年次には各自の研究テーマに関連する研究について、2年次には各自の研究テーマまたは専門分野以外の研究について、調査、発表、討論を実施する。
- ・特別研究では、研究テーマを決定し、研究の遂行および研究成果の取りまとめや修士論文の作成を通じて、各自の専門分野の知識と技術を習得する。

#### 教職センター

#### 【ディプロマ・ポリシー】

教職課程では、所定の年限在学し、本課程の教育理念・目的を達成するために開設した授業科目を履修して、教員免許取得に必要な単位数を修得し、かつ、修了に必要な単位数を修得並びに修士論文の審査及び最終試験に合格し、次の能力を有すると認められた者は高等学校教諭専修免許状(理科)を取得することができます。

- ・教員として総合的知見・情報を活用して課題を解析・考察し、解決できる能力をもっている。
- ・教科教育を教授するための高度で専門的な知見と能力を身につけている。
- ・教育実践をとおして得た幅広い視点をもっており学校現場での生徒の指導や探究活動ができる。

#### 【カリキュラム・ポリシー】

教職課程では、ディプロマ・ポリシーを達成するために、以下のカリキュラムを開設し、実施します。

- ・自らの研究課題を適切にそして正確に理解し表現するために、多くのプレゼンテーションの機会を設け、各場面で議論することを通して多角的観点から課題の本質を見極める能力を養成する。
- ・教科に関する専門的知見を幅広く深く修得させるために、多くの知見を集め分析させるとともに、得られた知見・結果をもとに教科内容を展望させる。

- ・学校現場を理解するために積極的に高大連携活動や学生実習の TA や所属研究室における実験補助を通して教授法を学ばせ、生徒や学生に接することで実践的教育能力を高めさせる。

# I 試験概要

## ○建設工学専攻

### 一般選抜

#### 1. 募集人員

専攻	分野	募集人員
建設工学	材料・構造 地域計画 地域環境整備	若干名

志願者は、31ページ以降の開設研究室一覧を参考に、研究内容を熟知した上で、必ず指導教員と連絡を取り、出願することの承諾を得てください。

#### 2. 出願資格

出願資格は、24ページの「II 出願資格」をご覧ください。

#### 3. 選抜方法及び試験日程等

##### (1) 選抜方法

入学者の選抜は、書類審査及び面接試験により、総合的に行います。

試験科目	試験内容等
面接	志望する専攻に関する事項を中心に行います。（口頭試問を含む）

##### (2) 試験日程等

試験日： 平成29年2月5日（日）

試験時間： 13時30分から

試験場： 前橋工科大学（試験室等は当日に1号館正面掲示板に掲示します。）

※ 受験生は、面接控室に12時30分から13時00分までの間に入室してください。

※ 試験当日は、本学の受験票を必ず持参してください。

##### 試験実施時間

専攻	時間割	
	13:30～	
建設工学		面接試験

## 社会人特別選抜

### 1. 募集人員

専攻	分野	募集人員
建設工学	材料・構造 地域計画 地域環境整備	若干名

志願者は、31ページ以降の開設研究室一覧を参考に、研究内容を熟知した上で、必ず指導教員と連絡を取り、出願することの承諾を得てください。

### 2. 出願資格

出願資格は、24ページの「II 出願資格」をご覧ください。

### 3. 選抜方法及び試験日程等

#### (1) 選抜方法

入学者の選抜は、書類審査及び面接試験により、総合的に行います。

試験科目	試験内容等
面接	志望する専攻に関する事項を中心に行います。

#### (2) 試験日程等

試験日：平成29年2月5日（日）

試験時間：13時30分から

試験場：前橋工科大学（試験室等は当日に1号館正面掲示板に掲示します。）

※受験生は、面接控室に12時30分から13時00分までの間に入室してください。

※試験当日は、本学の受験票を必ず持参してください。

#### 試験実施時間

専攻	時間割	
	13:30～	
建設工学		面接試験

## 外国人留学生特別選抜

### 1. 募集人員

専攻	分野	募集人員
建設工学	材料・構造 地域計画 地域環境整備	若干名

志願者は、31ページ以降の開設研究室一覧を参考に、研究内容を熟知した上で、必ず指導教員と連絡を取り、出願することの承諾を得てください。

### 2. 出願資格

出願資格は、24ページの「II 出願資格」をご覧ください。

### 3. 選抜方法及び試験日程等

#### (1) 選抜方法

入学者の選抜は、書類審査及び面接試験により、総合的に行います。

なお、面接試験は論文など（原文が日本語又は英語以外で作成されている場合は、日本語又は英語の抄訳も添付）に代えることができます。

試験科目	試験内容等
面接	志望する専攻に関する事項を中心に行います。

#### (2) 試験日程等

試験日： 平成29年2月5日（日）

試験時間： 13時30分から

試験場： 前橋工科大学（試験室等は当日に1号館正面掲示板に掲示します。）

※ 受験生は、面接控室に12時30分から13時00分までの間に入室してください。

※ 試験当日は、本学の受験票を必ず持参してください。

#### 試験実施時間

専攻	時間割	
	13:30～	
建設工学		面接試験

# ○建築学専攻

## 一般選抜

### 1. 募集人員

専攻	分野	募集人員
建築学	建築計画・意匠 建築構造・材料 建築環境・設備	若干名

志願者は、31ページ以降の開設研究室一覧を参考に、研究内容を熟知した上で、必ず指導教員と連絡を取り、出願することの承諾を得てください。

### 2. 出願資格

出願資格は、24ページの「II 出願資格」をご覧ください。

### 3. 選抜方法及び試験日程等

#### (1) 選抜方法

入学者の選抜は、専門科目試験と外国語(英語:TOEIC又はTOEFL)試験、書類審査及び面接試験により総合的に行います。

試験科目	試験内容等	
	選択方法	分野
専門科目	筆記試験 (右記分野の6問全問を解答する。)	建築計画・意匠 2問
		建築構造・材料 2問
		建築環境・設備 2問
外国語(英語)	TOEIC 又は TOEFL の成績に関する書類を提出してください。 ※ 25ページの「IV 外国語(英語)試験」を参照してください。	
面接	志望する専攻に関する事項を中心に行います。(口頭試問を含む。)	

#### (2) 試験日程等

試験日: 平成29年2月5日(日)

試験時間: 10時00分から

試験場: 前橋工科大学(試験室等は当日に1号館正面掲示板に掲示します。)

※ 受験生は、試験室に9時00分から9時30分までの間に入室してください。

※ 試験当日は、本学の受験票を必ず持参してください。

#### 試験実施時間

専攻	時間割		
	10:00	12:00	13:30~
建築学		専門科目試験	休憩 面接試験

## 社会人特別選抜

### 1. 募集人員

専攻	分野	募集人員
建築学	建築計画・意匠 建築構造・材料 建築環境・設備	若干名

志願者は、31ページ以降の開設研究室一覧を参考に、研究内容を熟知した上で、必ず指導教員と連絡を取り、出願することの承諾を得てください。

### 2. 出願資格

出願資格は、24ページの「II 出願資格」をご覧ください。

### 3. 選抜方法及び試験日程等

#### (1) 選抜方法

入学者の選抜は、書類審査と外国語(英語:TOEIC又はTOEFL)試験、小論文及び面接試験により、総合的に行います。

試験科目	試験内容
外国語 (英語)	TOEIC 又は TOEFL の成績に関する書類を提出してください。 ※ 25ページの「IV 外国語(英語)試験」を参照してください。
面接	志望する専攻に関する事項を中心に行います。
小論文	志望する専攻に関する小論文を書いていただきます。

#### (2) 試験日程等

試験日：平成29年2月5日(日)

試験時間：10時30分から

試験場：前橋工科大学(試験室等は当日に1号館正面掲示板に掲示します。)

※受験生は、試験室に9時30分から10時00分までの間に入室してください。

※試験当日は、本学の受験票を必ず持参してください。

#### 試験実施時間

専攻	時間割		
	10:30	12:00	13:30～
建築学		小論文	休憩 面接試験

## 外国人留学生特別選抜

### 1. 募集人員

専攻	分野	募集人員
建築学	建築計画・意匠 建築構造・材料 建築環境・設備	若干名

志願者は、31ページ以降の開設研究室一覧を参考に、研究内容を熟知した上で、必ず指導教員と連絡を取り、出願することの承諾を得てください。

### 2. 出願資格

出願資格は、24ページの「II 出願資格」をご覧ください。

### 3. 選抜方法及び試験日程等

#### (1) 選抜方法

入学者の選抜は、書類審査、外国語(英語:TOEIC又はTOEFL)試験及び面接試験により、総合的に行います。

なお、面接試験は論文など(原文が日本語又は英語以外で作成されている場合は、日本語又は英語の抄訳も添付)に代えることができます。

試験科目	試験内容等
外国語 (英語)	TOEIC 又は TOEFL の成績に関する書類を提出してください。 ※ 25ページの「IV 外国語(英語)試験」を参照してください。
面接	志望する専攻に関する事項を中心に行います。(口頭試問を含む。)

#### (2) 試験日程等

試験日: 平成29年2月5日(日)

試験時間: 13時30分から

試験場: 前橋工科大学(試験室等は当日に1号館正面掲示板に掲示します。)

※ 受験生は、面接控室に12時30分から13時00分までの間に入室してください。

※ 試験当日は、本学の受験票を必ず持参してください。

#### 試験実施時間

専攻	時間	割
	13:30 ~	
建築学		面接試験

# ○生命情報学専攻

## 一般選抜

### 1. 募集人員

専攻	分野	募集人員
生命情報学	知的情報処理 生命情報科学	4名

志願者は、31ページ以降の開設研究室一覧を参考に、研究内容を熟知した上で、必ず指導教員と連絡を取り、出願することの承諾を得てください。

### 2. 出願資格

出願資格は、24ページの「II 出願資格」をご覧ください。

### 3. 選抜方法及び試験日程等

#### (1) 選抜方法

入学者の選抜は、外国語(英語:TOEIC又はTOEFL)試験、書類審査及び面接試験により、総合的に行います。

試験科目	試験内容等
外国語(英語)	TOEIC 又は TOEFL の成績に関する書類を提出してください。 ※ 25ページの「IV 外国語(英語)試験」を参照してください。
面接	志望する専攻に関する事項を中心に行います。(口頭試問を含む)

#### (2) 試験日程等

試験日: 平成29年2月5日(日)

試験時間: 13時30分から

試験場: 前橋工科大学(試験室等は当日に1号館正面掲示板に掲示します。)

※ 受験生は、面接控室に12時30分から13時00分までの間に入室してください。

※ 試験当日は、本学の受験票を必ず持参してください。

#### 試験実施時間

専攻	時間割	
	13:30 ~	
生命情報学		面接試験

## 社会人特別選抜

### 1. 募集人員

専攻	分野	募集人員
生命情報学	知的情報処理 生命情報科学	若干名

志願者は、31ページ以降の開設研究室一覧を参考に、研究内容を熟知した上で、必ず指導教員と連絡を取り、出願することの承諾を得てください。

### 2. 出願資格

出願資格は、24ページの「II 出願資格」をご覧ください。

### 3. 選抜方法及び試験日程等

#### (1) 選抜方法

入学者の選抜は、書類審査、小論文及び面接試験により、総合的に行います。

試験科目	試験内容
面接	志望する専攻に関する事項を中心に行います。
小論文	志望する専攻に関する800字程度の小論文を書いていただきます。

#### (2) 試験日程等

試験日：平成29年2月5日（日）

試験時間：10時30分から

試験場：前橋工科大学（試験室等は当日に1号館正面掲示板に掲示します。）

※ 受験生は、試験室に9時30分から10時00分までの間に入室してください。

※ 試験当日は、本学の受験票を必ず持参してください。

#### 試験実施時間

専攻	時間割		
	10:30	12:00	13:30～
生命情報学		小論文	休憩 面接試験

## 外国人留学生特別選抜

### 1. 募集人員

専攻	分野	募集人員
生命情報学	知的情報処理 生命情報科学	若干名

志願者は、31ページ以降の開設研究室一覧を参考に、研究内容を熟知した上で、必ず指導教員と連絡を取り、出願することの承諾を得てください。

### 2. 出願資格

出願資格は、24ページの「II 出願資格」をご覧ください。

### 3. 選抜方法及び試験日程等

#### (1) 選抜方法

入学者の選抜は、書類審査、外国語(英語:TOEIC又はTOEFL)試験及び面接試験により、総合的に行います。

なお、面接試験は論文など(原文が日本語又は英語以外で作成されている場合は、日本語又は英語の抄訳も添付)に代えることができます。

試験科目	試験内容等
外国語 (英語)	TOEIC 又は TOEFL の成績に関する書類を提出してください。 ※ 25ページの「IV 外国語(英語)試験」を参照してください。
面接	志望する専攻に関する事項を中心に行います。

#### (2) 試験日程等

試験日: 平成29年2月5日(日)

試験時間: 13時30分から

試験場: 前橋工科大学(試験室等は当日に1号館正面掲示板に掲示します。)

※ 受験生は、面接控室に12時30分から13時00分までの間に入室してください。

※ 試験当日は、本学の受験票を必ず持参してください。

#### 試験実施時間

専攻	時間割	
	13:30 ~	
生命情報学		面接試験

# ○システム生体工学専攻

## 一般選抜

### 1. 募集人員

専攻	分野	募集人員
システム生体工学	システム神経工学 生体情報計測システム 生体機能制御システム	若干名

志願者は、31ページ以降の開設研究室一覧を参考に、研究内容を熟知した上で、必ず指導教員と連絡を取り、出願することの承諾を得てください。

### 2. 出願資格

出願資格は、24ページの「II 出願資格」をご覧ください。

### 3. 選抜方法及び試験日程等

#### (1) 選抜方法

入学者の選抜は、外国語(英語: TOEIC又はTOEFL)試験と専門科目試験、書類審査及び面接試験により、総合的に行います。

試験科目	試験内容等		
外国語 (英語)	TOEIC 又は TOEFL の成績に関する書類を提出してください。 ※ 25ページの「IV 外国語(英語)試験」を参照してください。		
専門科目	筆記試験 (各分野から出題されるシステム生体工学の基礎に関する問題(専門科目5科目)の中から3科目を選択し、解答する。)	分野 <sup>注1</sup> システム 神経工学 生体情報計測 システム 生体機能制御 システム	専門科目 回路工学 <sup>注2</sup> 生理学・生体情報工学 生体計測工学 制御工学 信号処理
面接	志望する専攻に関する事項を中心に行います。		

<sup>注1</sup>分野とは、指導する教員の分野のことです。

<sup>注2</sup>回路工学は電気回路と電子回路の内容を含みます。

#### (2) 試験日程等

試験日: 平成29年2月5日(日)

試験時間: 10時30分から

試験場: 前橋工科大学

※ 受験生は、試験室に9時30分から10時00分までの間に入室してください。

※ 試験当日は、本学の受験票を必ず持参してください。

試験実施時間

専攻	時間割		
	10:30	12:00	13:30 ~
システム生体工学		専門科目	休憩 面接試験

## 社会人特別選抜

### 1. 募集人員

専攻	分野	募集人員
システム生体工学	システム神経工学 生体情報計測システム 生体機能制御システム	若干名

志願者は、31ページ以降の開設研究室一覧を参考に、研究内容を熟知した上で、必ず指導教員と連絡を取り、出願することの承諾を得てください。

### 2. 出願資格

出願資格は、24ページの「II 出願資格」をご覧ください。

### 3. 選抜方法及び試験日程等

#### (1) 選抜方法

入学者の選抜は、書類審査、小論文及び面接試験により、総合的に行います。

試験科目	試験内容
面接	志望する専攻に関する事項を中心に行います。
小論文	出題課題について論作文していただきます。

#### (2) 試験日程等

試験日：平成29年2月5日（日）

試験時間：10時30分から

試験場：前橋工科大学

※ 受験生は、試験室に9時30分から10時00分までの間に入室してください。

※ 試験当日は、本学の受験票を必ず持参してください。

試験実施時間

専攻	時間割		
	10:30	12:00	13:30 ~
システム生体工学		小論文	休憩 面接試験

## 外国人留学生特別選抜

### 1. 募集人員

専攻	分野	募集人員
システム生体工学	システム神経工学生体情報計測システム 生体機能制御システム	若干名

志願者は、31ページ以降の開設研究室一覧を参考に、研究内容を熟知した上で、必ず指導教員と連絡を取り、出願することの承諾を得てください。

### 2. 出願資格

出願資格は、24ページの「II 出願資格」をご覧ください。

### 3. 選抜方法及び試験日程等

#### (1) 選抜方法

入学者の選抜は、書類審査、外国語(英語:TOEIC又はTOEFL)試験及び面接試験により、総合的に行います。

なお、面接試験は論文など(原文が日本語又は英語以外で作成されている場合は、日本語又は英語の抄訳も添付)に代えることができます。

試験科目	試験内容
外国語 (英語)	TOEIC 又は TOEFL の成績に関する書類を提出してください。 ※ 25ページの「IV 外国語(英語)試験」を参照してください。
面接	志望する専攻に関する事項を中心に行います。

#### (2) 試験日程等

試験日: 平成29年2月5日(日)

試験時間: 13時30分から

試験場: 前橋工科大学(試験室等は当日に1号館正面掲示板に掲示します。)

※ 受験生は、面接控室に12時30分から13時00分までの間に入室してください。

※ 試験当日は、本学の受験票を必ず持参してください。

#### 試験実施時間

専攻	時間割	
	13:30 ~	
システム 生体工学		面接試験

# ○生物工学専攻

## 一般選抜

### 1. 募集人員

専攻	分野	募集人員
生物工学	生物科学 生物利用	2名

志願者は、31ページ以降の開設研究室一覧を参考に、研究内容を熟知した上で、必ず指導教員と連絡を取り、出願することの承諾を得てください。

### 2. 出願資格

出願資格は、24ページの「II 出願資格」をご覧ください。

### 3. 選抜方法及び試験日程等

#### (1) 選抜方法

入学者の選抜は、外国語(英語: TOEIC又はTOEFL)試験と専門科目試験、書類審査及び面接試験により、総合的に行います。

試験科目	試験内容等
外国語 (英語)	TOEIC 又は TOEFL の成績に関する書類を提出してください。 ※ 25ページの「IV 外国語(英語)試験」を参照してください。
専門科目	筆記試験(各分野に共通して出題される生物工学の基礎に関する全問題に解答する。)
面接	志望する専攻に関する事項を中心に行います。

#### (2) 試験日程等

試験日: 平成29年2月5日(日)

試験時間: 11時00分から

試験場: 前橋工科大学(試験室等は当日に1号館正面掲示板に掲示します。)

※ 受験生は、試験室に10時00分から10時30分までの間に入室してください。

※ 試験当日は、本学の受験票を必ず持参してください。

#### 試験実施時間

専攻	時間割		
	11:00	12:00	13:30 ~
生物工学		専門科目 試験	休憩 面接試験

## 社会人特別選抜

### 1. 募集人員

専攻	分野	募集人員
生物工学	生物科学 生物利用	若干名

志願者は、31ページ以降の開設研究室一覧を参考に、研究内容を熟知した上で、必ず指導教員と連絡を取り、出願することの承諾を得てください。

### 2. 出願資格

出願資格は、24ページの「II 出願資格」をご覧ください。

### 3. 選抜方法及び試験日程等

#### (1) 選抜方法

入学者の選抜は、書類審査及び面接試験により、総合的に行います。

試験科目	試験内容
面接	志望する専攻に関する事項を中心に行います。

#### (2) 試験日程等

試験日：平成29年2月5日（日）

試験時間：13時30分から

試験場：前橋工科大学（試験室等は当日に1号館正面掲示板に掲示します。）

※ 受験生は、面接控室に12時30分から13時00分までの間に入室してください。

※ 試験当日は、本学の受験票を必ず持参してください。

#### 試験実施時間

専攻	時間割	
	13:30 ~	
生物工学		面接試験

## 外国人留学生特別選抜

### 1. 募集人員

専攻	分野	募集人員
生物工学	生物科学 生物利用	若干名

志願者は、31ページ以降の開設研究室一覧を参考に、研究内容を熟知した上で、必ず指導教員と連絡を取り、出願することの承諾を得てください。

### 2. 出願資格

出願資格は、24ページの「II 出願資格」をご覧ください。

### 3. 選抜方法及び試験日程等

#### (1) 選抜方法

入学者の選抜は、書類審査及び面接試験により、総合的に行います。

試験科目	試験内容等
面接	志望する専攻に関する事項を中心に行います。

#### (2) 試験日程等

試験日： 平成29年2月5日（日）

試験時間： 13時30分から

試験場： 前橋工科大学（試験室等は当日に1号館正面掲示板に掲示します。）

※ 受験生は、面接控室に12時30分から13時00分までの間に入室してください。

※ 試験当日は、本学の受験票を必ず持参してください。

#### 試験実施時間

専攻	時間割	
	13:30 ~	
生物工学		面接試験

## II 出願資格

### 1. 一般選抜

次の各号のいずれかに該当する者は、出願を認めます。

- (1) 大学を卒業した者及び平成29年3月までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第104条第4項の規定に基づき、大学評価・学位授与機構から学士の学位を授与された者及び平成29年3月までに授与される見込みの者
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了し、学士号を取得した者及び平成29年3月31日までに取得見込みの者
- (4) 留学生として日本の大学を卒業し、学士号を取得した外国人及び平成29年3月末までに取得見込みの外国人
- (5) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）（注1参照）
- (6) 本研究科において、出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者（注2参照）

※ただし、この（6）によって出願する者は、資格審査を行いますので、25ページの「III 入学資格審査」に基づく手続きを行ってください。

（注1）文部科学大臣が指定した者に該当する者は、「大学又は短期大学に2年以上在学し、62単位以上修得した者で、教育職員免許法による小学校、中学校、高等学校若しくは幼稚園の教諭の専修免許状又は1種免許状を有する者」等です。

（注2）上記（6）により、大学卒業資格を有していない者（たとえば、短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業者や外国大学日本分校等の修了者など）であっても、本研究科が独自に実施する「出願資格審査」により大学卒業と同等の学力があると認められた者

### 2. 社会人特別選抜

一般選抜の出願資格（1）から（6）に該当する者で、かつ、次の各号のいずれかに該当する者は、出願を認めます。

- (1) 出願時において、職業を有している者で、引き続き平成29年4月1日（入学時）以降もその身分を有している者、または、職業を有していない者で、平成29年4月1日（入学時）に職業を有している者
- (2) 平成29年4月1日（入学時）現在、満25歳以上の者

### 3. 外国人留学生特別選抜

外国に国籍を有する者で、日本語で行われる授業が理解でき、かつ、次のいずれかに該当する者は、出願を認めます。

- (1) 外国において学校教育における16年の課程を修了し、学士号を取得した外国人及び平成29年3月末までに取得見込みの外国人
  - (2) 大学卒業までに16年を要しない国からの外国人留学生であって、次のいずれかの条件を満たし、かつ本大学院が日本国内の大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者
    - ① 大学教育修了後日本国内または国外の大学、国立大学共同利用研究機関等これに準ずる研究機関において、研究生、研究員として1年以上研究に従事した者及び平成29年3月31日までに1年以上研究に従事する見込みの者
    - ② 平成29年3月31日までに満22歳に達する者
- ※ ただし、この（2）によって出願する者は、資格審査を行いますので、25ページの「III 入学資格審査」に基づく手続きを行ってください。

## III 入学資格審査

一般選抜の出願資格（6）、社会人特別選抜のうち一般選抜の出願資格（6）に該当する者、外国人留学生特別選抜の出願資格（2）に基づき出願する者は、出願資格認定のため、下記のとおり出願前に審査を行いますので、関係書類を提出してください。

### 1. 提出期間

平成28年12月2日（金）から 12月9日（金）まで

### 2. 提出方法

- ①郵送：書留（簡易書留も可）速達とし、提出期間最終日の17時00分必着です。
- ②持参：受付時間は平日の9時00分から17時00分までです。

### 3. 提出書類

- |  |                          |
|--|--------------------------|
| ①審査申請書   | ⑤成績証明書                   |
| ②審査調書（経歴書を含む）                                    | ⑥卒業（修了）証明書又は卒業（修了）見込証明書  |
| ③志望理由書   | ⑦研究業績報告書（該当者のみ）          |
| ④研究計画書   | ⑧国籍及び在留資格を確認できる書類（外国籍の者） |
| ⑨審査結果送付用封筒（長形3号の封筒に宛名を明記し、362円分の送付用切手を貼付してください。） |                          |
- ※①～④、⑦については、前橋工科大学ホームページ（トップページ）» 入試情報» 大学院 入学資格審査）[<http://www.maebashi-it.ac.jp/exam/daigakuin-shikaku.html>]よりダウンロード・印刷し、③～⑥、⑧については、27ページの「VI 出願書類一覧」を参照してください。

### 4. 入学資格審査の結果

結果は、平成28年12月26日（月）に本人に通知発送します。

### 5. 出願手続き

入学資格審査により大学卒業と同等の学力があると認められた者は、本募集要項に基づき、出願期間内に出願手続きを行ってください。

## IV 外国語（英語）試験

TOEIC 又は TOEFL の成績を換算したものを外国語（英語）試験の得点とします。

### 1. 提出書類について

TOEIC（公開テスト）<sup>注1</sup>のTOEIC公式認定証又はTOEFL（TOEFL-iBT）公式スコア票<sup>注2</sup>のいずれか1つを入学願書締切日までに提出してください。<sup>注3</sup>平成27年2月以降に受験したものに限ります。

<sup>注1</sup> 本学で実施するTOEIC-IP（団体特別受験制度）のスコア票も公式認定証と同等として認めます。本学の学生以外の方も利用できますので、受験希望者は、開催スケジュールを前橋工科大学生協で確認してください。なお、書類提出には時間がかかりますので、十分余裕をもって準備してください。

○問い合わせ先：前橋工科大学生協 電話 027-287-4611

<sup>注2</sup> TOEFLには、2種類のスコア票があります。受験者宛に送られてくる受験者用控えスコア票(Examinee Score Record)は認めません。米国ETSから直接本大学に送られてきた公式スコア票(Official Score Report)のみ認めます。

<sup>注3</sup> 公式認定証や公式スコア票の発行には、受験後約1ヶ月かかります。入学願書締切日までに本学必着で提出できるよう、十分余裕をもって受験してください。

## 2. 換算方法について

(ア) TOEIC<sup>注1</sup>公式認定証を提出した場合

[TOEIC得点 → 英語得点]

換算方法 :

○TOEIC得点  $\geq$  700 の場合は、100点とします。

○TOEIC得点 < 700 の場合は、下記の計算式から英語得点を換算します。

英語得点 = TOEIC得点  $\times$  ( 100 / 700 )

小数点第3位を四捨五入して小数点第2位の得点換算となります。

(イ) TOEFL公式スコア票を提出した場合

[TOEFL得点 → 英語得点]

換算方法 :

○TOEFL得点  $\geq$  76 の場合は、100点とします。

○TOEFL得点 < 76 の場合は、下記の計算式から英語得点を換算します。

英語得点 = TOEFL得点  $\times$  ( 100 / 76 )

小数点第3位を四捨五入して小数点第2位の得点換算となります。

## V 受験上の注意事項

1. 受験者は、試験開始の30分前までに指定された試験室または面接控室に入室し、着席してください。
2. 試験開始後30分以内の遅刻に限り受験を認めます。ただし、試験時間の延長は行いません。
3. 面接試験においては、開始時（13時30分）に不在であった場合には、欠席したものとして取り扱います。
4. 該当する試験を全科目受験しなかった者は、入学者選抜の対象から除きます。
5. 当日は、筆記用具を必ず持参してください。
6. 受験票は、学力試験及び面接控室の机の通路側の見えやすい場所に置いてください。
7. 試験当日受験票を忘れた者は、速やかに1号館1階事務局で仮受験票の発行手続きをしてください。また、受験票は入学手続きの際に必要となりますので、試験後も大切に保管してください。
8. 試験中に使用を許可する物は、鉛筆（シャープペンも可）、消しゴム、鉛筆削り、時計（計時機能のみのもの）に限ります。
9. 試験室に入室後、携帯電話やスマートフォンの電源を切ってください。また、時計等のアラーム機能も切ってください。
10. 試験室において受験者間の物品の貸借は、一切認めません。
11. 昼食の販売は行いませんので、必要な場合は各自で準備してください。
12. 忘れ物がないように注意し、自分のゴミは持ち帰ってください。
13. 駐車場がありませんので、公共交通機関等をご利用ください。
14. 不測の事態等が生じ試験実施が困難であると判断した場合は、中止又は試験形態を変更する事があります。
15. 試験の実施に関して変更等がある場合は、本学ホームページに掲載しますので、試験前に確認してください。
16. その他必要が生じた場合は、後日通知します。

## VI 出願書類一覧

出願に必要な書類		作成方法等	一般	社会人	外国人
A 票	入学願書	黒色のボールペン若しくは、パソコン等で作成してください。必ず黒色のボールペンで自署をしてください。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
B 票	受験票	縦4cm×横3cmの写真(正面半身脱帽背景なし、出願前3か月以内に撮影したもの)の裏に氏名を記入し、写真貼付欄に貼付してください。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
C 票	写真票				
D 票	志望理由書	本募集要項の様式をふまえたものであれば、パソコン等で作成したものでも可とします。研究計画書には、指導教員の自署、若しくは記名確認印が必要となります。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
E 票	研究計画書				
F 票	身元保証書	外国籍の者は提出してください。身元保証人の条件に該当する人が自筆で記入してください。	該当者のみ		
G 票	入学検定料納付証明書	入学検定料は、『振込依頼書』を使用し、金融機関(ゆうちょ銀行は除く)の窓口にて納入してください。ATMやインターネットバンキングでの納入はしないでください。入学検定料納入後、『入学検定料納付証明書』を貼付欄に貼付してください。受領印のないものは受け付けできません。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
成績証明書〔*〕		出身学校所定の用紙で作成され、厳封されたものを提出してください。(本学のものについては、厳封でなくても可)なお、在学中の場合は、履修中の科目が記載されているもので出願前1か月以内に発行されたものを提出してください。なお、成績証明書が発行されない場合には、事前に本学まで連絡してください。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
卒業(修了)証明書 又は卒業(修了)見込み証明書〔*〕		出身学校所定のものを提出してください。	いずれか該当するもの		
学位授与証明書又は 学位授与申請に係る 証明書〔*〕		学士の学位を授与された者及び授与見込みの者で出願する者は、上記卒業証明書に代えて提出してください。			
TOEIC公式認定証又は TOEFLスコア票		外国語(英語)試験で使用する場合は、提出してください。(※確認後写しを取り、受験票とともに返却します。)	該当者のみ		
前橋市の 住民票の写し		入学料の減額に該当する前橋市内居住者は、提出してください。〔前橋市内居住者については29ページの「4. 入学に係る経費(注1)」を参照〕外国人留学生で国籍及び在留資格を確認できる書類として、提出してある場合は必要ありません。	該当者のみ		
国籍及び在留資格を 確認できる書類		外国籍の者は、市区町村長の発行する「住民票の写し」(国籍及び在留資格が明記されているもの)を提出してください。	該当者のみ	<input type="radio"/>	

出願に必要な書類	作成方法等	一般	社会人	外国人
外国人留学生特別選抜の面接に代わる論文等	面接を論文等に代える場合は、提出してください。(原文が日本語又は英語以外で作成されている場合は、日本語又は英語の抄訳も添付 )	△	△	該当者のみ
受験票返送用封筒	長形3号(23.5cm×12cm)の封筒に、出願する者の郵便番号、住所、氏名を明記し、362円分の切手(速達料金を含む。)を貼ったもの。なお、受験票を直接受け取る場合は切手の貼付は必要ありません。	○	○	○
出願書類提出用封筒	提出書類送付用ラベルに、志望専攻・分野、差出人等の必要事項を記入し、角2封筒にはがれないように糊付してください。	○	○	○

- \* 原本が日本語又は英語以外で作成されている場合は、①「原本」、②「日本語又は英語で作成された訳文」、③「その訳文を翻訳・作成した機関又は翻訳会社(翻訳者)の住所・名称(氏名)・連絡先等が記載され、押印(サイン)のある証明書」の書類をそれぞれ提出してください。
- \* 出願書類は原本(コピー不可)を提出してください。(提出した出願書類は返却できません。)
- \* 証明書に記載されている氏名と現在の氏名が異なる場合は、戸籍抄本を添付してください。
- \* 入学資格審査で、一度提出している書類については、出願時に再度提出する必要はありません。

## VII 出願、合格発表、入学手続き、入学に係る経費

### 1. 出願

#### (1) 受付期間

平成29年1月23日(月)から1月26日(木)まで  
最終日の17時00分必着です。

#### (2) 出願方法

出願書類を前橋工科大学ホームページ(トップページ)»入試情報»大学院入試要項)[<http://www.maebashi-it.ac.jp/exam/daigakuin.html>]よりダウンロード・印刷し、必要事項を記入等の上、出願書類提出用封筒に入れ、「郵送」又は「持参」により提出してください。

- ① 郵送の場合は、必ず書留(簡易書留も可)速達で郵送してください。
- ② 持参の場合の受付時間は、9時00分から17時00分まで

#### (3) 出願先

〒371-0816 群馬県前橋市上佐鳥町460番地1  
前橋工科大学 学務課学生係 [受付場所:1号館1階事務局]  
TEL 027-265-7361

### 2. 合格発表

#### (1) 発表日時

平成29年2月17日(金) 10時00分

#### (2) 発表方法

合格者の受験番号を本学1号館正面掲示板に掲示するとともに、合格者には、「合格通知書」及び「入学関係書類」を送付します。また、合格者の受験番号は、本学ホームページ(<http://www.maebashi-it.ac.jp>)でも掲載しますが、合格通知書の送付をもって正式通知とします。なお、電話等による合否の問い合わせには一切応じません。

### 3. 入学手続き

#### (1) 入学手続期間

平成29年2月27日（月）まで 最終日の17時00分必着です。

#### (2) 入学手続方法

入学手続書類を「郵送」又は「持参」により提出してください。

① 郵送の場合は、必ず書留（簡易書留も可）速達扱いにしてください。

② 持参の場合の受付時間は、平日の9時00分から17時00分までです。

#### (3) 入学手続先

上記の1. 出願（3）出願先と同じ

#### (4) 入学辞退

合格者が入学手続期間内に入学手続きを完了しない場合は、入学辞退者として取り扱います。入学手続き完了後、やむを得ない理由で入学を辞退する場合は、至急本学に連絡し、平成29年3月31日【必着】までに所定の入学辞退届を提出してください。

※ 卒業（修了）見込み又は学位授与見込みで出願・合格し、入学手続きを完了した場合でも、平成29年3月31日までに卒業（修了）又は学位授与されないことが判明した場合には、入学資格を失います。

### 4. 入学に係る経費

		金額	納入時期
入 学 料		282,000円	入学手続時
		141,000円（前橋市内居住者）	
諸 経 費	後 援 会 費	30,000円（他大学の出身者）	入学前
		20,000円（本学出身者）	
	学生自治会費	11,000円（他大学の出身者）	
		10,000円（本学出身者）	
	同 窓 会 費	20,000円（本学・前橋市立工業短期大学出身者は不要）	
授 業 料	前期	267,900円	4月
		267,900円	10月

（注1）「前橋市内居住者」とは、入学する者または配偶者もしくは1親等の親族が平成29年4月1日において引き続き1年以上前橋市に住所を有している者とします。

（平成28年4月1日から平成29年4月1日までの間、前橋市に住民登録がある者）

（注2）「前橋市内居住者」として入学料を納入した者は、入学後に平成29年4月1日以降に取得した前橋市の住民票の写し（平成29年4月1日以降に転出した者は住民票の除票）を提出してもらいます。前橋市内居住者の条件を満たしていないことが判明した場合は、差額を納入してもらいます。

（注3）授業料等改定が行われた場合には、改定後の授業料となります。

※ いつたん納入した入学料は、どのような理由があっても返還できません。

## Ⅷ 障がいを有する等の入学志願者との事前相談

本学に入学を志願する者で、障がいを有する等、受験上及び修学上の配慮を必要とする可能性がある場合は、下記により出願前に必ず連絡し、相談してください。また、相談期限後に不慮の事故等により身体等に障がいを有することとなった場合は、速やかに相談してください。

### 1. 相談期間

平成29年1月5日（木）から 1月12日（木）まで

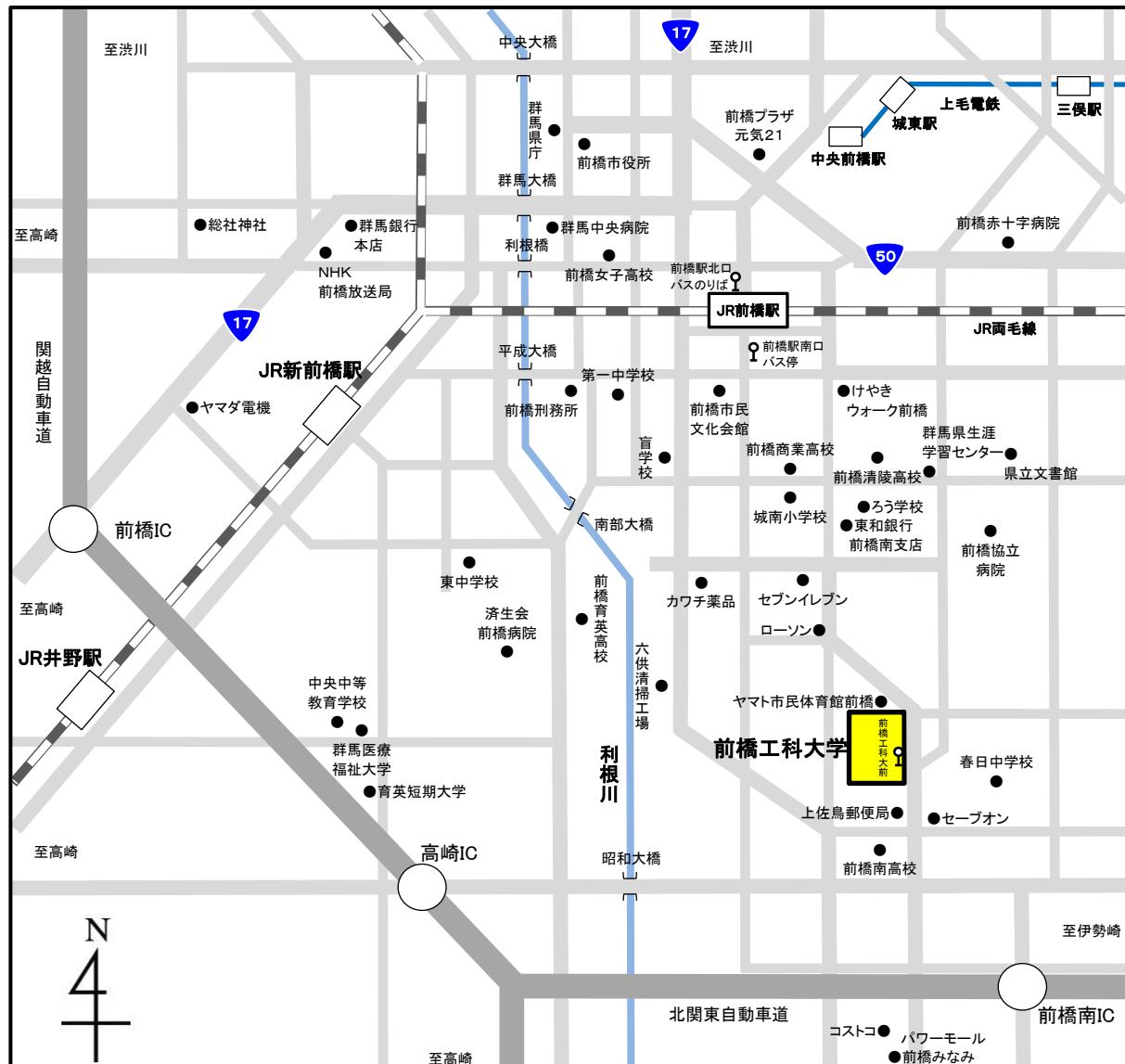
### 2. 相談方法

事前に連絡先まで電話連絡し、本学で定める相談申請書（住所・氏名・性別・連絡先・志望学科・障がいの症状及び状況・受験上、修学上特別な配慮を希望する事項・出身学校等で取られていた特別措置を明記してください）及び診断書等必要書類を添付し、提出してください。必要な場合には、本学において志願者又はその立場を代弁し得る関係者との面談を行います。

### 3. 連絡・提出先

28ページの「1. 出願（3）」出願先と同じ

# 前橋工科大学案内図



## 交通機関のご案内

- バス JR前橋駅北口4番のりばから約10分 「前橋工科大前」 下車  
 [永井バス : 新町玉村線、天川原町経由下川団地線] 片道200円
- タクシー 約10分
- 徒歩 約30分

## 試験に関するお問い合わせ

〒371-0816  
 群馬県前橋市上佐鳥町460番地1  
 前橋工科大学 学務課学生係 (入試担当)  
 [1号館1階事務局内]  
 TEL 027-265-0111(代表)  
 027-265-7361(学務課直通)  
 FAX 027-265-3837  
 E-Mail nyushi@maebashi-it.ac.jp

URL <http://www.maebashi-it.ac.jp>

